



「第10回ワークライフバランス大賞」で保険業界初の「大賞」を受賞

2018年4月13日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、(公財)日本生産性本部ワークライフバランス推進会議が主催する「第10回 ～働く個人を応援する～ ワークライフバランス大賞」において、保険業界で初めて「大賞」を受賞しました。

この賞は、組織を中心としたワークライフバランスの推進から一歩前進させ、充実した人生を送るという個人の生き方の実現を目指し、実効性ある先進的な取り組みを表彰するものです。

第10回目となる今回、当社の取り組みが総合的かつ先進的で、最も優れていると評価されました。5月11日(金)にホテルニューオータニで開催される表彰式にて同会議から表彰されます。

当社は、2017年3月から、毎月いずれかの金曜日に15時退社することを推奨・推進する「Myプレミアムフライデー」の実施や、退社予定時刻等を宣言するための卓上POPには、丸く黄色いプレ金ロゴマークを印字した15時退社宣言プレートを入れ、全社員に配布しています。

さらに、2018年2月から、社員に豊かな休暇を楽しんでもらうため、エンターテイメントやグルメ、ショッピング等様々な生活シーンで利用できる福利厚生サービスの充実を図るなど、ワークライフバランス推進に取り組んでいます。

こうした取り組みにより、労働時間が大幅に減少するとともに、休暇取得平均日数は毎年増加しています。当社は今後も、社員一人ひとりが、やりがいと働きがいを持てるよう、ワークライフバランスの推進や、社員の成長・能力発揮を支える各種施策の推進に取り組んで参ります。

<参考:ワークライフバランス推進会議 発表のお知らせ>

「第10回ワークライフバランス大賞」受賞組織発表(平成30年3月30日)

<http://www.jisedai.net/wlbtaihou/2017/index.php>

<(公財)日本生産性本部ワークライフバランス推進会議が発表した当社の受賞理由>

●生産性を向上させ、創出された時間をキャリア支援や学び直しに展開

<ポイント>

- 社長がワークライフバランス、社員の成長・能力発揮を支える環境整備に取り組むことを表明、全ての部支店長が“育ボス宣言”を実施。
- キャリア形成支援、労働生産性向上施策、学び直し支援、柔軟な働き方の支援制度、社会参画支援など、バランスよく総合的に施策を設計、運用。
- 有給休暇取得日数は2014年度14.4日から2016年度16.1日に上昇。男性の育児休業取得状況は2014年7名から2016年141名へ増加。

以上